

公益財団法人たかまつ讃岐てらす財団
第2期（2023年度・公益法人）事業報告書
（2024年7月23日～2024年7月31日）

【概要と主な成果】

第2期（2023年度・公益法人）は、以下の3点を重点目標とし、取り組みを進めた。

- ・財団の基盤づくり：
公益財団として、説明責任が十分に果たせる組織づくりを目指し、定時理事会及び定時評議員会の招集の準備をはじめ、定款や諸規程に基づいた財団運営に取り組んだ。
- ・助成プログラムの実施：
公益財団となり、寄付者が税控除を受けられるようになったことを受けて、プロジェクト指定基金の募集に力を入れた。地域の公益活動をする団体が直接資金調達できる仕組みとして、積極的に広報を実施し、7月度には4件の申請を受け付けた。
- ・寄付の呼びかけ：
前期に引き続き、月額・定額の寄付コース「てらすファンクラブ」への寄付を呼びかけた。また、上記プロジェクト指定基金の寄付募集に向けた仕組みづくりを開始した。

【公益目的事業：公益活動支援助成事業】

(1) テーマ指定基金

(ア) 子ども若者の体験や学びの機会を支える助成【学校対象】

- ・当財団は、香川県で育った若者たちが「地元が好き」「いつか戻ってきたい」という気持ちを胸に進路選択に臨める未来をめざしている。教育の最前線で子どもたちと関わる小中学校、高校、支援学校の先生方による、地域との関わりの中で、子どもたちの地元への愛着形成や自己成長につながる体験の提供、および、地域への効果や影響を生み出す環境創出に対して、助成を実施した。
- ・2024年度1次募集公募内容（進行中）
対象事業：助成プログラムの意図を反映した事業
申請受付期間：2024年5月16日～6月30日
事業実施期間：採択通知～2025年2月28日
申請件数：6件
採択件数：5件
助成総額：490,180円（見込み）
- ・2024年度助成先

学校名	活動内容	申請金額
尽誠学園高等学校	地元金融機関の協力による「社会に出る前の金融教育」で、高校3年生の香川愛を高める	90,180円

フレンドシップ 実行委員会	不登校の小中学生の支援センターでの造形・料理・体育活動などに地域の方を招き、社会とのつながりを感じる	100,000 円
高松市立新番丁小学校	児童を主体した、地域のコミュニティ協議会や PTA の協力により「人と人がつながるビオトープ」づくり	100,000 円
香川県立高松東高等学校	保育探究グループが高松短期大学と連携し、0～5 才児の遊び場の企画・運営を通じて、保育についての理解を深める	100,000 円
香川県立高松高等学校	平和をテーマに、杉原千畝の母校の生徒と現地交流し、その活動を地元の小中学生に共有・交流する	100,000 円

・伴走支援を、順次実施する予定である。

(2) プロジェクト指定基金

- ・申請受付期間：2024 年 6 月 10 日～12 月 27 日（毎月末締切）
- ・申請件数：7 月度 4 件（来期に選考会を実施し、採択団体を決定・寄付募集開始を予定）

(3) 冠基金

新規応募は 0 件であった。

2. 地域円卓会議および研修・イベント等開催事業

(1) 情報共有の場づくり

今期は実施しなかった。

(2) 啓発事業・講師派遣等

今期は実施しなかった。

3. 調査研究事業

今期は実施しなかった。

4. 相談・コーディネイト事業

今期は実施しなかった。

5. 財団運営活動

(1) 情報発信・啓発活動

- ・ 随時、当財団のウェブサイトおよび SNS において、公募情報などを発信した。
- ・ 随時、当財団の情報をプレスリリースした。また、助成先団体と共同で、助成先団体のイベント情報等をプレスリリースした。
- ・ 随時、外部からのヒアリングに対応した。
- ・ メディア掲載実績：今期の実績なし

(2) 資金調達活動

(ア) 活動内容

- ・ 理事を中心に、個人や法人に対しての新規の寄付依頼、設立発起人への寄付依頼、ウェブサイトを通じた呼びかけを行った。
- ・ 引き続き、継続的に財団運営を支援してもらう月額・定額の寄付コース「てらすファンクラブ」への寄付を呼びかけ、13 名の新規登録があった。

(イ) 資金調達実績

- ・ てらすファンクラブは 37 名、定額 49,000 円／月、総額 15,000 円の寄付を受領した。
- ・ その他、当財団運営費として 3 件（個人 2 件、法人・団体 1 件）、計 31,500 円の寄付を受領した。

【法人運営（管理）事業】

1. 機関会議の運営

(1) 評議員会の開催

評議員会は開催しなかった。

(2) 理事会の開催

臨時理事会を 1 回開催した。

- ・ 第 1 回臨時理事会（2024 年 7 月 25 日 書面決議）
第 1 号議案 2024 年度事業計画等について

(3) 監査の実施

加藤監事および三村監事が 1 回の理事会に関して、事務局から報告を受け、業務監査を実施した。

2. 役員に関する事項

(1) 評議員

今期中の就任または退任はなかった。

(2) 理事

今期中の就任または退任はなかった。

(3) 監事

今期中の就任または退任はなかった。

3. 事務局体制

(1) 組織体制

・期首から期末にかけて、事務局職員 5 名（常勤 1 名、非常勤 4 名）が在籍

(2) 各事業の人員配置

・事業チーム（助成事業・イベント開催事業・寄付者の新規開拓等）：2 名

・総務チーム（総務・会計・経理等）：3 名

(3) 職員研修とスキルアップ

・今期中の実績なし

4. 寄付者等の情報管理

個人情報保護方針等に従い、寄付者等財団支援者の情報管理を徹底するとともに、寄付者への事業・成果報告、コミュニケーションを円滑に行えるよう、サイボウズ社の kintone システムを利用し、データベースの適切な管理と活用を行っている。今後は Salesforce 社のシステムへの移行を予定しており、Salesforce 社や（公財）京都地域創造基金のサポートを受け、効率運用できるようシステム移行を進めている。

※Salesforce：CRM クラウドサービスを提供する業界トップのグローバル企業。NPO 法人等への無償提供プログラムなど CSR にも積極的に取り組む（<http://www.salesforce.com/jp/>）

添付資料：

- ・業務執行理事の職務執行状況報告

以上のとおりであるが、第 2 期（2023 年度）事業報告は本文にて事業等が詳細に説明されるため、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は不要につき、附属明細書は作成しない。

第2期（2023年度・公益法人） 公益財団法人たかまつ讃岐てらす財団
業務執行理事の職務執行状況報告

■代表理事

- ・理事会の招集及び決議
- ・事務局打合せ出席
- ・助成式出席
- ・内部決裁、承認

■代表理事（決裁）

- ・2024年7月23日：2024年度子ども若者の体験や学びの機会を支える助成2次募集 要項決定の件

以上